

ISSN 1340-2420

教材情報資料 No.80

1998

女性の力を引き出す企画力養成 指導書

雇用促進事業団

職業能力開発大学校 研修研究センター

まえがき

わが国においては、人口の高齢化、女性の職場進出、サービス産業における情報化の進展やME化を初めとした技術革新の進展など、労働力の需給構造や就業形態が変化してきている。また最近では、「年齢」や「勤続年数」より「職務・仕事の種類、内容」や「職務に関する専門的能力」を重視する能力主義社会の到来が予想されている。

このような状況のなかで、当研修研究センターでは、女性の職業能力開発について具体的対策を視野に入れた研究として、「女性の職業能力開発に関する研究」（研究期間2年）をプロジェクト研究として行ってきた。

研究初年度は、企業の女性社員をとりまく職場の能力開発の環境と女性社員本人の就業意識や職業能力開発への要望等を明確にし、今後の能力開発の方向を展望するための基礎資料を得ることを目的として企業及び女性社員を対象に調査を実施した。

本教材は、前年度実施した調査に基づき、主として事務・企画・営業部門等で働く女性の企画開発能力やプレゼンテーション能力を高めるために在職者訓練コース用として効果的な訓練内容の適否を検討した結果開発された教材である。本教材は、職業観の形成とキャリアアップ、問題発見・解決能力、企画開発能力及びプレゼンテーション能力について、従来の講義方式による「知識・情報提供型」による習得に加えて、身近にある多くの事例（課題）をとおして「討議・演習型」にすることにより、受講者が考え、学ぶことができるものとなっている。

女性の職業能力開発に携わる方々にとって、本教材が能力開発セミナー等に役立てていただけるものであれば幸いである。

最後に、この教材開発に当たってご協力をいただいた各位に対し厚くお礼申し上げます。

平成10年3月

職業能力開発大学校
研修研究センター

研究プロジェクトメンバー（順序不同）

荒 金 雅 子	（株）ルームシグマ
金 谷 千 慧 子	女性と仕事研究所
上 條 茉莉子	（有）ライフデザインコンサルタンツ
空 閑 貞 子	（株）ウィメンズ
中 居 成 子	（株）ハートアンドキャリア
鈴 木 弘 道	生涯職業能力開発促進センター
森 田 順 司	生涯職業能力開発促進センター
更 科 利 夫	職業能力開発大学校研修研究センター
福 元 基	職業能力開発大学校研修研究センター

指導に当たって

コースを進めるに当たって、次のことを説明する。（指導時間20分）

1 コースの目的

本コースは、女性社員が職業観の再構築を行い、さらなるキャリアアップを目指して職場の中で十分能力が発揮できるよう、企画力やプレゼンテーション能力といった職務能力の向上を図ることを目的とする。

2 コースの運営

本講座は、4人～6人程度のグループを中心に、議論や発表を行うものとする。

事例課題の発表については、特に定めのない限り各グループから1名ないし2名の者を選出し、代表が発表するものとする。発表時間は、課題、グループ数によっても増減があるが、1グループ3分程度を目安とする。

3 グループワークの注意点

漫然と討議に入らせるのではなく、積極的に発言するように指導する。

時間内に結論まで到達することを強調する。女性グループの討議では、互いのアイデアをほめ合うだけで、検討に移れないことがよくある。討議の流れをみて指導する。

グループの中で、メモをとる、発表するなどの役割を決めておく。

4 参加者の自己紹介

一人、30秒程度で、所属企業や参加目的など自己紹介をしてもらう。

* 用意するもの

A3・B4の用紙、電卓、カラーマジック、のり、はさみ

教材情報資料No. 80 I S S N 1340-2420

女性の力を引き出す企画力養成指導書

発行日 平成10年3月

発行所 雇用促進事業団

職業能力開発大学校 研修研究センター

〒229-1196 相模原市橋本台4-1-1

TEL (0427)63-9047(広報普及室)

印刷所 株式会社 港栄印刷

〒240-0006 横浜市保土ヶ谷区星川3-3-29

TEL (045)333-8815
